

## 【2026年 | GX\*1 への協力に係る意思表示について】

弊社では、GX推進戦略\*2において掲げられている「国による投資促進策の基本原則\*3」を理解し、脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金(脱炭素志向型住宅の導入支援事業\*4)における事業者の登録に伴い、下記について表明いたします。

\*1 [経済産業省の該当ページへ](#)

\*2 [経済産業省の該当ページへ](#)

\*3 [経済産業省の該当ページへ](#)

\*4 [環境省の該当ページへ](#)

### ①温室効果ガスの排出削減のため以下の取組を実施

1. 設備更新時の省エネ設備の選択による省CO2化  
自社の事務所・ショールーム・工場等の設備更新時には省エネ性の高い設備を導入します。

2. 再エネの導入(グリーン電力の購入含む)による省CO2化、  
自社の事務所・ショールーム・工場には太陽光発電システムの搭載を推進しています。  
現在建設中の富山オープンスタジオ(2026年5月完成)社屋において16.4kWの太陽光発電システムを設置しています。

### 3. 自社建築物への木材(CLTなど)の利用推進

自社の事務所・ショールーム・工場の新規建設には木材の利用を推進します。

現在建設中の富山オープンスタジオ(2026年完成)社屋も木造による建築です。

### ②ZEHの取組については以下の通りです。

→ [該当ページへ](#)

③温室効果ガス排出削減に資する製品等におけるコスト、競争力の向上や国内企業の海外進出等につなげるため、省エネ性能の高い製品等の積極的な採用を推進します。

→ [該当ページへ](#)

### ④働き方改革の推進等、必要な人材の確保に向けた取組を進めます。

⑤「デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)\*7」を推進するため、デコ活応援団(官民連携協議会)参画及びデコ活宣言を行います。

→ [当社デコ活宣言ページへ](#)

\*7 [環境省の該当ページへ](#)

### ⑥ZEH普及への取り組み

2026年度のZEH普及目標は90%とし、供給する住宅のうち、ZEH基準の水準の省エネ性能を満たす住宅の供給割合を2025年度から増加させます。